

宮崎市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 19年5月～25年3月)

※ 期間延長適用後

【中心市街地を巡る状況】

- 郊外型店舗の立地急増(H3～)
中心市街地の中核大規模店が撤退(H14)
- 観光宮崎の低迷
 - ▽新婚旅行のメッカの地位喪失(S50頃)
 - ▽新たな観光戦略を模索するも、中核施設「シーガイア」が会社更正法申請(H13)



- 歩行者通行量(休日)
H10:110,011人 → H18:59,219人(△46%)
- 小売商業年間販売額
H9:2,665億円 → H16:1,763億円(△34%)
- 地域では、起死回生に向け、「Doまんなかモール」など、地域の知恵と力を結集し、中心市街地の来訪者を取り戻す取組が始動

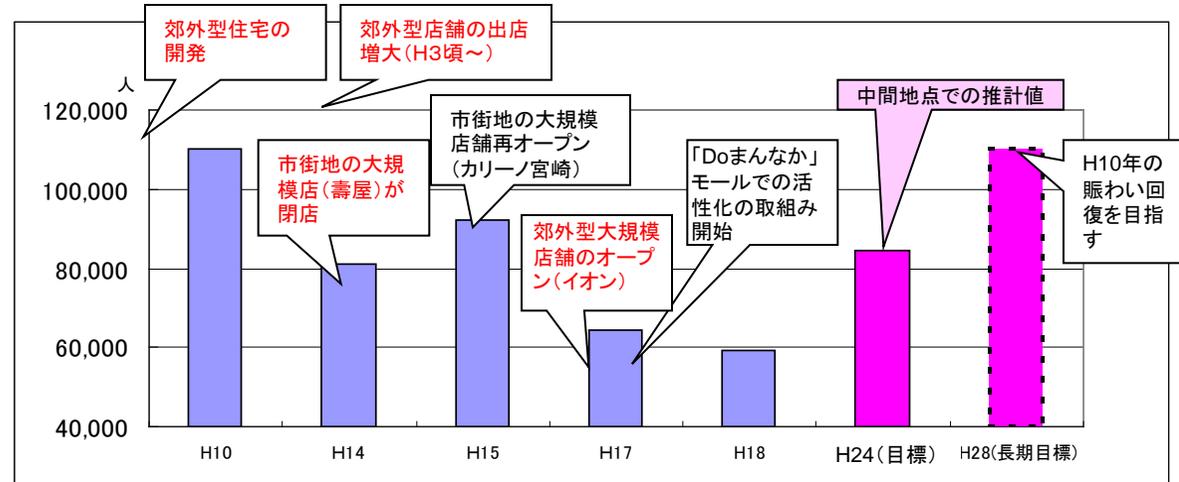
【目標】

目標	指標	現況値(H18)	目標値(H24)
賑わいの創出	歩行者通行量	59,200人	84,600人
まちなか居住の推進	夜間人口	7,600人	8,000人
就業機会の創出	昼間人口	平成18年度より900人増	

※ 昼間人口の現況値(H18)は18年度の「事業所・企業統計」により確定させる。

(歩行者通行量(休日)の推移と数値目標)

* 毎年1回調査



大型店と商店街が駐車場の共同無料化を行うなど「Doまんなかモール」として一体化するとともに、「橋通り公園化構想」の下で市民を主体とした各種イベントや植栽を実施し、これらが一体として効果を持つよう公共交通の利便性向上を図る。

宮崎市中心市街地活性化基本計画の事業概要

橋通3丁目周辺の市街地整備の取り組み



中心市街地の主要プロジェクト

○「DOまんなかモール」イベント
大型店と商店街が共同で賑わいづくりに取り組む



○みやざき国際ストリート音楽祭
橋通りの公園化を象徴するイベントとして、橋通りで市民参加による国際音楽祭を行う。

○ガガエイト
来街者に憩いの空間やまちなかイベントを開催することができる空間の提供を行う。

○(仮称)アートセンターの整備
子供から高齢者まで、市民が音楽、絵画などの文化芸術活動に親しみ交流する場づくり

「橋通りの公園化」構想



- ①車線減も視野に入れた人優先の空間づくり、
- ②市民と連携した緑化、賑わい創出のためのイベントにより、メインストリート周辺の公園化を図る。

駐車場共同利用システム

- ①駐車場整備：約1000台
- ②エリア内共通の無料駐車システムにより、利便性と回遊性を高める。
対象駐車台数：約2,800台

まちなか居住支援

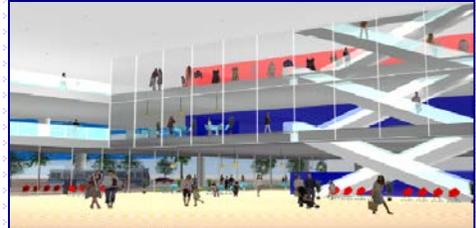
- 橋通東2丁目地区の再開発
居住・商業・業務・公益施設等の機能を創出。
- 家賃助成と建設費補助
高齢者、子育て世代への家賃補助と事業主への建設費補助。
- まちなかプレイパーク事業
NPOによる子どもの一時預かりや親子向けのイベント



公共交通機関の利便性向上

複合交通センターの整備

- ①道路を挟んで分かれているバスの発着機能を西口駅前広場に集約、②鉄道とバス交通のシームレス化を図るとともに、循環バスの社会実験を通じて、中心市街地の回遊性の向上を図る。
※民間活力を活用して、にぎわい・交流機能拠点づくりも併せて実施



中心市街地：162ha

	公共公益施設
	大型商業施設